

研究実施のお知らせ

研究課題名：脳梗塞早期 CT サイン検出におけるディープラーニングの有用性の検討

研究期間：倫理審査委員会承認後～平成32年10月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（CD-ROM）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

平成29年11月1日から平成32年10月31日まで、当院にて急性期脳梗塞と診断された患者の方

【研究の目的と意義】

頭部単純 CT 画像を用いて、急性期脳梗塞の正診度を高めることができれば、血栓溶解療法による急性期脳梗塞の治癒率の向上につながる可能性を期待できる。

【研究の方法】

後ろ向き研究、画像解析、対象者への診断及び治療への介入なし

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（匿名化された CT 画像及び MRI 画像）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

この研究は、多施設共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。

研究代表者：

秋田県立脳血管研究センター放射接貴学研究部 高橋 規之

研究参加施設

仙台市立病院 放射線技術科 坂元 健太郎

新潟大学大学院 保健学研究科 李 鎔範

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 放射線技術科

科長 工藤 泰（当院の研究責任者：坂元 健太郎）

仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号

電話：022-308-7111（代表）